

# 音楽

## 令和8年度 授業改善のポイント

- 1 知覚と感受を支えとした学習活動を通して育成を目指す資質・能力を育むことができるよう、表現及び鑑賞の学習において、思いや意図をもつための根拠となる音楽を形づくっている要素を精選し、その働きについて実感を伴いながら理解できるようにする。
- 2 全体で共有した考えを改善・再考に生かす活動を通して、音楽活動と言語活動の往還を更に充実させ、児童生徒が音楽表現を高めたり、より味わって聴いたりできるようにする。

### 〔共通事項〕を要として音楽的な思考を深める学習指導の工夫

#### 【指導事例】「静かにねむれ」の和音で旋律をつくろう（小学校第5学年）

A表現(3)音楽づくり ア(イ)、イ(イ)、ウ(イ)

〔共通事項〕(1)ア(本題材の学習において、思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素 ア：音楽を特徴付けている要素「旋律」「フレーズ」「和音の響き」、イ：音楽の仕組み「音楽の縦と横の関係」)

**重要** 音楽科における〔共通事項〕とは、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力のことで、以下の2点を「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて指導するものです。

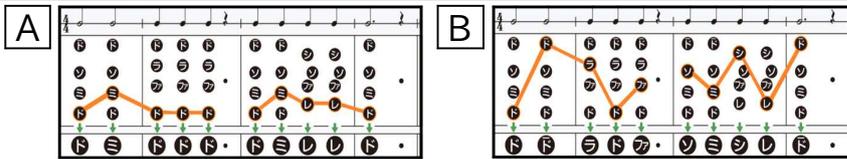
〔共通事項〕(1)ア：音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。【思考力、判断力、表現力等】

〔共通事項〕(1)イ：音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解できるようにすること。【知識】

**ねらい** 和音の響きやその移り変わり、和音と旋律の関わりについて考えながら、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解する。【知識】(本時1/3)

**ポイント1** 音楽を形づくっている要素を「旋律」に精選することで、知覚するための活動を焦点化する。

和音の響きと変化を聴き取り、その雰囲気の違いを感じ取ることができましたね。次は、デジタルコンテンツでつくったAとBの旋律の音のつなげ方について、それぞれの特徴を見付けましょう。



**ICT** 教科書のデジタルコンテンツなどを活用すると、音楽の仕組みが視覚的に捉えやすく、見直しも容易にできます。

**A**の旋律は、隣り合った音へ動いたり同じ高さの音が続いたりしています。

**B**の旋律は、音の高さが大きく上がったり下がったりしています。

音のつなげ方の特徴を、音や楽譜から見付けることができましたね。では、それぞれの音のつなげ方からどんな感じがするか、旋律を再生して聴いたり歌ったりしながら確かめましょう。

**重要** 音のつなげ方に焦点を絞り、選んだ音符を線で結ぶなどして視覚化したり、児童生徒が実際に音に出して確かめたりするなど、実感を伴って理解できるような手立てを工夫します。

**ポイント2** 音楽活動と言語活動の行き来を通して、音のつなげ方の特徴について理解する。

音のつなげ方の持ちよう	感じ取ったこと
上がっていく	・明るい・気持ちが高まる・エネルギーが増す
下がっていく	・落ち着く・静かになる・ため息のような
上がってから下がる	・もり上がってから最後落ち着いた感じ ・ジェットコースターみたい
下がってから上がる	・がっかりしたけど元気になった感じ ・ボールが地面にあたってポンッと上がった感じ
音の高さがあまり変わらない	・なめらかな・おだやかな・ささやくような
音の高さが大きく変わる	・ジャンプしている・わくわくする ・ドキドキする

和音の響きの移り変わりに合う音のつなげ方を見付け、その特徴がどのようなよさを生み出すか、実際に音を出して試しながら旋律をつくりましょう。

4度(ドファラ)は気分が上がるような感じだから、音の高さを大きく変えてより高くジャンプしているように音をつなげてみたよ。聴いてみて!

ジャンプする感じ、すごくいいね。次の和音に変わる時も、ミから上のドへ一気に上げてみたらどうかな。和音の変化に合わせて、もっとわくわくする感じになりそうだよ!

**重要** 曲想と音楽の構造等との関わりについて実感を伴って理解できるように、知覚・感受したることについて全体で共有し、再び試行錯誤の場で音楽活動と言語活動の行き来させます。